

[ 条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用) ]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月5日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市中御所4丁目4番18号

氏 名 第一建設工業株式会社 長野支店

支店長 堀山 功

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-8286

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	第一建設工業株式会社 長野支店
--------	-----------------

事業場の所在地	長野県長野市中御所4丁目4番18号
---------	-------------------

計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
------	---------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合建設業
---------	----------

② 事業の規模	元請完成工事高 71億円
---------	--------------

③ 従業員数	88名
--------	-----

④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙-2のとおり
-----------------	----------

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図) 別紙-2のとおり							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	8.80t	0.18t	57.86t	2.73t	326.75t	129.95t
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
	排出量	5.23t	259.47t	154.79t	26.27t		
(これまでに実施した取組) ・無駄のない資材調達、再生材料の使用。 ・施工計画、作業計画において、適切な材料手配を策定する。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	8.50t	0.20t	57.00t	2.30t	322.00t	120.00t
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
	排出量	5.00t	255.00t	150.00t	20.00t		
(今後実施する予定の取組) ・建設副産物のリサイクルの取組みをさらに進める。							
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、金属くず、廃プラスチックの分別を徹底し、リサイクルの向上を図っている。						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物を減少させるために、分別を徹底するよう指導する。 ・現場巡回を行い分別の現状を把握し、改善すべき事項を周知する。						

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) ・実施していません。						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はありません。						

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) ・実施していません。						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はありません。						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) ・実施していません。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はありません。							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡、 スチロール系)	紙くず	木くず	金属くず
	全処理委託量	8.80t	0.18t	57.86t	2.73t	326.75t	129.95t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.99t	0.18t	49.21t	2.73t	24.70t	129.95t
	再生利用業者への処理委託量	7.99t		21.83t		323.45t	129.95t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量					263.84t	
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く び石炭ボード含	がれき類(コンクリがら、廃アス ファルト、レンガ	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)		
	全処理委託量	5.23t	259.47t	154.79t	26.27t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0.78t	152.00t	154.79t	25.48t		
	再生利用業者への処理委託量	4.63t	206.19t		5.10t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
(これまでに実施した取組) ・がれき類、木くず、金属くず、廃プラスチックの分別を徹底し、リサイクル可能な処理会社に委託している。 ・委託契約書の電子化、マニフェストの電子化の推進を行い、より適切な処理を行えるようにしている。 ・産廃処理施設に伺い、処理状況の確認を行うことと、リサイクルの取組みや有害廃棄物の適正処理について打合せした。							

【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	紙くず	木くず	金属くず	
②計画	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量	8.50t	0.20t	57.00t	2.30t	322.00t	120.00t	
	優良認定処理業者への処理委託量	8.00t	0.20t	50.00t	2.00t	25.00t	120.00t	
	再生利用業者への処理委託量	8.00t		40.00t	1.50t	320.00t	120.00t	
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量					260.00t		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	がれき類(コンクリーガラ、廃アスファルト、レンガ)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)			
	全処理委託量	5.00t	255.00t	150.00t	20.00t			
	優良認定処理業者への処理委託量	0.80t	150.00t	150.00t	18.00t			
	再生利用業者への処理委託量	4.50t	250.00t		18.00t			
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量								
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルを積極的に行っている産廃処理会社の情報収集及び処理施設に伺い、リサイクルの取組みさらに向上させる検討を行う。</li> <li>・廃棄物のリサイクル向上のための方針や計画を策定し、社内で情報共有を図り、改善を行う。</li> </ul>								
※事務処理欄								

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

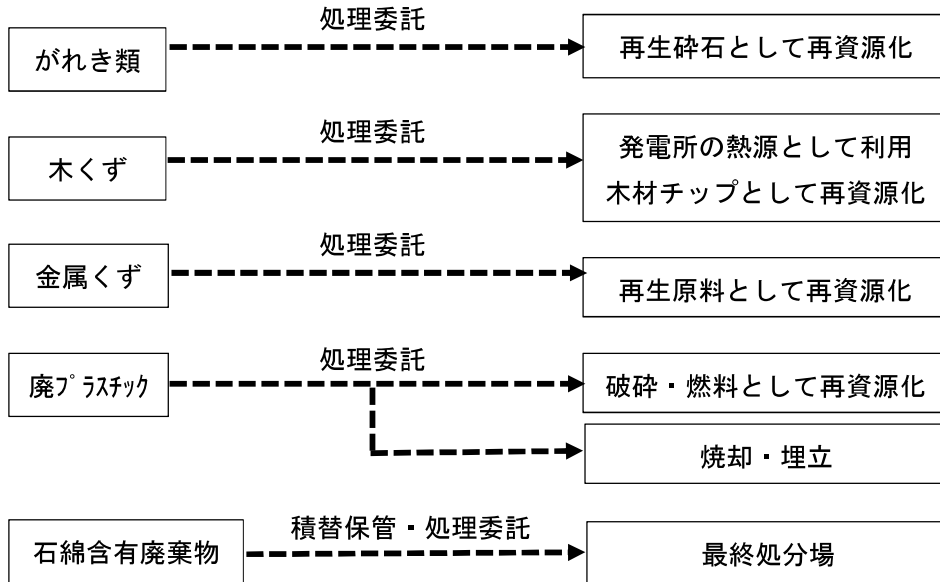
処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類												
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏)	がれき類(コンクリガラ、廃アスファルト)	石綿含有廃棄物	混合廃棄物(安定型、管理型)			合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	8.80t	0.18t	57.86t	2.73t	326.75t	129.95t	5.23t	259.47t	154.79t	26.27t			972.03t
	本年度排出量(計画)	8.50t	0.20t	57.00t	2.30t	322.00t	120.00t	5.00t	255.00t	150.00t	20.00t			940.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	8.80t	0.18t	57.86t	2.73t	326.75t	129.95t	5.23t	259.47t	154.79t	26.27t		972.03t
		本年度計画(目標)	8.50t	0.20t	57.00t	2.30t	322.00t	120.00t	5.00t	255.00t	150.00t	20.00t		940.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	7.99t	0.18t	49.21t	2.73t	24.70t	129.95t	0.78t	152.00t	154.79t	25.48t		547.81t
		本年度計画(目標)	8.00t	0.20t	50.00t	2.00t	25.00t	120.00t	0.80t	150.00t	150.00t	18.00t		524.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	7.99t		21.83t		323.45t	129.95t	4.63t	206.19t		5.10t		699.14t
		本年度計画(目標)	8.00t		40.00t	1.50t	320.00t	120.00t	4.50t	250.00t		18.00t		762.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績					263.84t							263.84t
		本年度計画(目標)					260.00t							260.00t

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。

別紙 2

産業廃棄物の処理の工程



管理体制図

